

※ 令和元年10月1日より受検手数料が改正されました。

令和3年度



【後期】

技能検定試験受検案内
技能五輪宮城県大会案内

技能検定は、働く方々の持っている技能を一定の基準によって検定し、それを公に証明する国家検定制度です。この制度は、皆さんの技能の向上と社会的地位の向上を図ることを目的とし、職業能力開発促進法に基づいて実施されるものです。

検定は、職種ごとに特級、1級、2級、3級及び単一等級に区分し、実技試験及び学科試験により実施されます。合格者には、特級、1級及び単一等級は厚生労働大臣の、2級及び3級は宮城県知事の合格証書が交付され、技能士の称号が与えられます。

◆技能検定実施日程（令和3年9月1日公示）

受検申請受付	令和3年10月4日(月)から10月15日(金)まで ・郵送の場合は10月15日(金)までの消印有効。 ・受付窓口は、平日9時から16時まで。土日祝日休み。
実技試験	問題公表 令和3年11月26日(金) ・実技試験問題は(当日配布を除く。)は、各試験の実施前に受検申請書記載の住所に受検票とともに送付する予定です。 ・11月26日以降、試験日程の早い順に発送予定です。
	実施期間 令和3年12月3日(金)から 令和4年2月13日(日)までの指定した日
学科試験	下記のいずれか指定した1日。 令和4年 1月23日(日) 1月30日(日) 2月 2日(水) 2月 6日(日)
合格発表	令和4年 3月11日(金)



宮城県職業能力開発協会

〒981-0916 仙台市青葉区青葉町16-1

TEL 022-271-9917 FAX 022-271-9242

◆実施職種及び受検手数料

特 級		検定職種		検定職種		検定職種		受検手数料(円)	
検定職種	職種番号	検定職種	職種番号	検定職種	職種番号	作業番号			
							実技試験	学科試験	
金属熱処理	005	機械検査	013	油圧装置調整	084	全職種 000	18,200	3,100	
機械加工	006	ダイカスト	014	建設機械整備	068				
放電加工	095	電子機器組立て	015	婦人子供服製造	025				
金型製作	114	電気機器組立て	016	紳士服製造	026				
金属プレス加工	007	半導体製品製造	141	プラスチック成形	037				
工場板金	123	プリント配線板製造	162	パン製造	130				
めっき	010	自動販売機調整	097						
仕上げ	012	空気圧装置組立て	142						

1・2級・単一等級		受検手数料(円)						
検定職種 (38職種)	職種番号	選択作業名 (42作業)	作業番号	実技試験				学科試験
				1級 単一等級	2級			
					2級(35歳以上)	在校生		
				35歳未満	35歳以上	35歳未満		
さく井	121	ロータリー式さく井工事	020	18,200	9,200	12,100	3,100	3,100
鍛造	004	プレス型鍛造	030	18,200	9,200	12,100	3,100	3,100
金型製作	114	プレス金型製作	010	18,200	9,200	12,100	3,100	3,100
工場板金	123	機械板金	030	18,200	9,200	12,100	3,100	3,100
		数値制御タレットパンチプレス板金	040	18,200	9,200	12,100	3,100	3,100
ロープ加工	154	ロープ加工	010	18,200	9,200	12,100	3,100	3,100
機械検査	013	機械検査	010	15,100	6,100	10,100	2,900	3,100
電気機器組立て	016	シーケンス制御	060	18,200	9,200	12,100	3,100	3,100
半導体製品製造	141	集積回路チップ製造	010	18,200	9,200	12,100	3,100	3,100
		集積回路組立て	020	18,200	9,200	12,100	3,100	3,100
プリント配線板製造	162	プリント配線板製造	020	18,200	9,200	12,100	3,100	3,100
鉄道車両製造・整備	160	走行装置整備(2級のみ実施)	060	18,200	9,200	12,100	3,100	3,100
		鉄道車両点検・調整	080	18,200	9,200	12,100	3,100	3,100
空気圧装置組立て	142	空気圧装置組立て	010	18,200	9,200	12,100	3,100	3,100
油圧装置調整	084	油圧装置調整	010	18,200	9,200	12,100	3,100	3,100
農業機械整備	077	農業機械整備	010	18,200	9,200	12,100	3,100	3,100
冷凍空気調和機器施工	069	冷凍空気調和機器施工	010	18,200	9,200	12,100	3,100	3,100
和裁	027	和服製作	010	13,300	4,300	8,900	2,900	3,100
寝具製作	028	寝具製作	010	18,200	9,200	12,100	3,100	3,100
プリプレス	034	DTP	036	18,200	9,200	12,100	3,100	3,100
プラスチック成形	037	射出成形(実技のみ)	020	18,200	9,200	12,100	3,100	
菓子製造	151	洋菓子製造	010	18,200	9,200	12,100	3,100	3,100
水産練り製品製造	156	かまぼこ製品製造	010	18,200	9,200	12,100	3,100	3,100
建築大工	038	大工工事	010	18,200	9,200	12,100	3,100	3,100
かわらぶき	039	かわらぶき	010	18,200	9,200	12,100	3,100	3,100
配管	046	建築配管	010	18,200	9,200	12,100	3,100	3,100
厨房設備施工	118	厨房設備施工	010	18,200	9,200	12,100	3,100	3,100
型枠施工	074	型枠工事	010	18,200	9,200	12,100	3,100	3,100
鉄筋施工	047	鉄筋施工図作成	010	18,200	9,200	12,100	3,100	3,100
		鉄筋組立て	020	18,200	9,200	12,100	3,100	3,100
コンクリート圧送施工	157	コンクリート圧送工事	010	18,200	9,200	12,100	3,100	3,100
防水施工	086	改質アスファルトシート工法防水工事	010	18,200	9,200	12,100	3,100	3,100
カーテンウォール施工	158	金属製カーテンウォール工事	010	18,200	9,200	12,100	3,100	3,100
自動ドア施工	163	自動ドア施工	010	18,200	9,200	12,100	3,100	3,100
バルコニー施工 【単一等級】	136	金属製バルコニー工事	010	18,200	—			3,100
ガラス施工	050	ガラス工事	010	18,200	9,200	12,100	3,100	3,100
機械・プラント製図	052	機械製図CAD	015	13,300	4,300	8,900	2,900	3,100
電気製図	053	配電盤・制御盤製図	010	13,300	4,300	8,900	2,900	3,100
印章彫刻	057	木口彫刻	010	18,200	9,200	12,100	3,100	3,100
塗装	060	鋼橋塗装	040	18,200	9,200	12,100	3,100	3,100
広告美術仕上げ	061	広告面粘着シート仕上げ	030	18,200	9,200	12,100	3,100	3,100
舞台機構調整	112	音響機構調整	010	18,200	9,200	12,100	3,100	3,100

3級

検定職種 (15職種)	職種番号	選択作業名 (15作業)	作業番号	受検手数料(円)				
				実技試験				学科試験
				一般		在校生		
				(35歳以上)	35歳未満	(35歳以上)	35歳未満	
機械加工	006	普通旋盤	010	18,200	9,200	12,100	3,100	3,100
機械検査	013	機械検査	010	15,100	6,100	10,100	2,900	3,100
電子機器組立て	015	電子機器組立て	010	18,200	9,200	12,100	3,100	3,100
電気機器組立て	016	シーケンス制御	060	18,200	9,200	12,100	3,100	3,100
冷凍空調和機器施工	069	冷凍空調和機器施工	010	18,200	9,200	12,100	3,100	3,100
和裁	027	和服製作	010	13,300	4,300	8,900	2,900	3,100
家具製作	124	家具手加工	010	18,200	9,200	12,100	3,100	3,100
プラスチック成形	037	射出成形	020	18,200	9,200	12,100	3,100	3,100
建築大工	038	大工工事	010	18,200	9,200	12,100	3,100	3,100
かわらぶき	039	かわらぶき	010	18,200	9,200	12,100	3,100	3,100
配管	046	建築配管	010	18,200	9,200	12,100	3,100	3,100
型枠施工	074	型枠工事	010	18,200	9,200	12,100	3,100	3,100
鉄筋施工	047	鉄筋組立て	020	18,200	9,200	12,100	3,100	3,100
機械・プラント製図	052	機械製図CAD	015	13,300	4,300	8,900	2,900	3,100
広告美術仕上げ	061	広告面粘着シート仕上げ	030	18,200	9,200	12,100	3,100	3,100

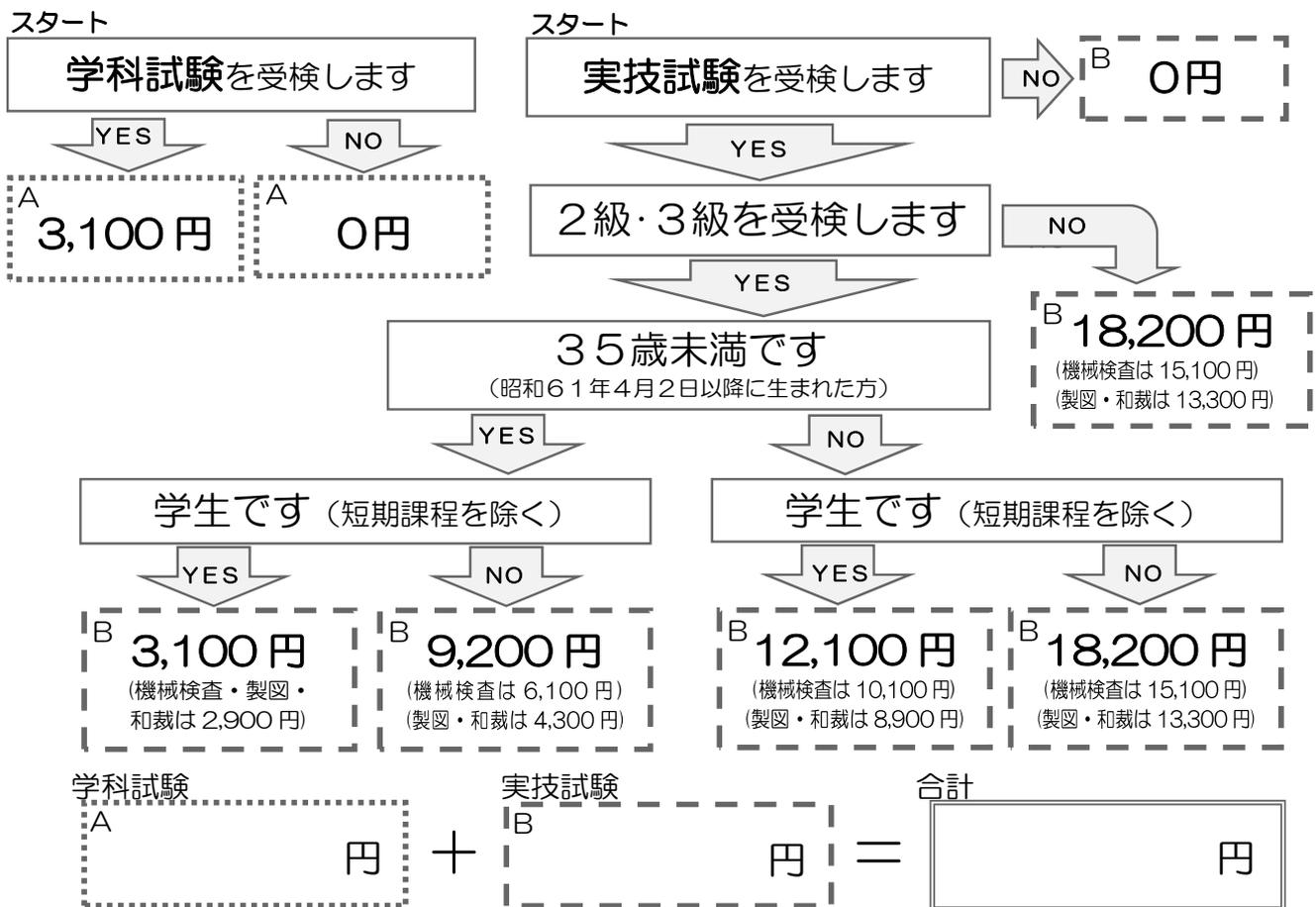
◆受検手数料自己チェック表

日本でものづくり分野に従事する若者の確保・育成を目的として、

- 35歳未満の方
- 高等学校、専門学校等（検定職種に関する課程）に在籍する方

※普通職業訓練の短期課程の方または認定訓練校に在籍して就労している方は、該当とはなりません。

が2級（技能五輪含む）または3級を受検する場合、実技試験の手数料は一般の受検者と異なります。申請の際は、各証明書を必ず添付してください。



を納入してください。

◆受検申請手続きの流れ

①受検案内・申請書の入手

- ・宮城県職業能力開発協会、高等技術専門校等各施設で配付します。
- ・郵送希望の場合は、宮城県職業能力開発協会までご連絡ください。

②申請書の記入

- ・記入例（13～14ページ）をよくお読みになって記入してください。
- ・必ず受検者本人が記入してください。

③受検手数料の納入

- ・受付期間中（10月4日～10月15日）までに銀行振込にてご入金ください。
- ・自己チェック表（2ページ）で改めて入金額を確認してからご入金ください。

≪振込先≫ 七十七銀行 北仙台支店 普通預金 ミヤギケンシヨクギョウノウリョクカイハツキョウカイ 宮城県職業能力開発協会
口座番号 9127551

★現金での受付作業について

作業名	募集定員
鉄道車両点検・調整	8名

上記の作業については受検人数に制限があるため、**現金での納入**となります。

受付開始から**先着順で受付いたします**ので、受検手数料を窓口までお持ちください。

④受検の申請

- ・以下のものを送付又は窓口まで持参してください。
 - 受検申請書
 - 本人確認書類の写し（別紙1（16ページ）に貼付）
 - 振込明細書の写し（別紙1（16ページ）に貼付） ※募集定員のある職種の方は現金
 - 技能検定合格証書の写し（A4） ※下位級に合格している場合
 - 試験免除の証明書類の写し（A4） ※一部合格通知（写し）等
 - 県外受検申請書（別紙2（18ページ）） ※学科試験を県外で受検希望の場合
- 各証明書等を紛失された方は当協会までご連絡ください。

≪送付先≫ 〒981-0916 仙台市青葉区青葉町16-1
宮城県職業能力開発協会 技能振興課 宛

- ・郵送の場合、申請受付期間最終日（10月15日）の消印まで有効とします。

⑤試験の通知（受検票の発送）

- ・実技試験問題は、公表日以降、受検申請書に記載されたご住所に受検票とともに送付します。
- ・受検票は大切に保管し、試験当日に必ず持参して下さい。
- ・実技試験問題は、一部の職種を除き、令和3年11月26日(金)に公表となり、当協会でご覧することが出来ます。公表となる職種（作業）や内容については、当協会までお問い合わせ下さい。

⑥試験の実施

- ・実施職種毎の試験内容は、中央職業能力開発協会のホームページ[技能検定]で試験概要をご覧ください。 <http://www.javada.jp/>
- ・実技、学科試験の日時と会場は、受検票に記載し通知します。
- ・写真票に顔写真を貼り、自筆でサインをして試験当日必ず持参して下さい。
- ・試験会場によっては、混雑が考えられますので余裕をもって集合して下さい。

○実技試験への持ち物

受検票（写真票） 問題用紙 問題用紙記載の準備物等

○学科試験への持ち物

受検票（写真票） HBの鉛筆又はシャープペン 消しゴム

※実技・学科試験の際には、試験に必要なもの以外は持ち込まないでください。

⑦合格発表

- ・受検者へ結果を郵送で通知します。
- ・宮城県職業能力開発協会、宮城県経済商工観光部産業人材対策課に掲示します。
- ・宮城県経済商工観光部産業人材対策課のホームページに掲載します。（一部合格含む）
※ホームページアドレス <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sanzin/gokaku.html>
- ・電話やメールによる合否の問い合わせには応じられません。

⑧試験結果の開示

- ・試験の結果（学科試験及び実技試験の得点のみ）については、受検者本人の請求により、合格発表日から1ヶ月間、宮城県経済商工観光部産業人材対策課において開示します。
受検票及び運転免許証等の本人確認ができる証明書をご持参下さい。
- ・「合否基準」は、宮城県経済商工観光部産業人材対策課のホームページをご覧ください。
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sanzin/gouhi.html>
- ・実技試験の「採点項目及び配点」は、中央職業能力開発協会のホームページをご覧ください。
http://www.javada.or.jp/ex/jigyuu/gino/giken/saitenkoumoku/saiten_index.html

○個人情報の保護について

- ・受検申請に当たって記載頂いた個人情報につきましては、受検票の送付、合格発表等技能検定の円滑な実施のために利用いたします。
- ・技能検定の受検申請をされた方には、各関係団体主催の事前講習会の案内をお送りいたします。また、技能検定に合格された方で該当する方には、職業訓練指導員資格取得講習の案内をお送りすることとしています。不要な方はあらかじめ当協会までご連絡願います。

◆実技試験

- (1) 令和3年12月3日(金)から令和4年2月13日(日)までの指定する日に行います。
- (2) 送付された『実技試験写真票』に顔写真を貼り、自筆のサインをして試験当日必ず持参して下さい。
- (3) 試験会場によっては混雑が考えられますので、余裕を持って集合して下さい。
また、会場案内図等により指示された事項(駐車場の指定等)を必ず守って下さい。
- (4) 試験会場には、試験に必要なもの(試験問題により指示されたもの)以外は持ち込まないで下さい。
- (5) 実技試験には、製作等作業試験、判断等試験、計画立案等作業試験があり、職種毎に実施されるものは異なります。

各職種毎の試験内容は、中央職業能力開発協会ホームページ「令和3年度後期技能検定実技試験概要」をご覧ください。

下記職種の判断等試験及び計画立案等作業試験は、全国一斉に行われます。その他の実技試験の実施日時等については、受検票により通知します。

実施日	職種名	作業名	統一実施の内容
1月16日(日) 〔8:45集合〕	さく井 空気圧装置組立て 鉄筋施工 コンクリート圧送施工 カーテンウォール施工 バルコニー施工	ロータリー式さく井工事 空気圧装置組立て 鉄筋施工図作成 コンクリート圧送工事 金属製カーテンウォール工事 金属製バルコニー工事	1・2級：計画立案等作業試験 1・2級：計画立案等作業試験 1・2級：製作等作業試験 1・2級：判断等試験 1・2級：計画立案等作業試験 単一等級：計画立案等作業試験
1月16日(日) 〔9:55集合〕	コンクリート圧送施工	コンクリート圧送工事	1・2級：計画立案等作業試験
1月16日(日) 〔時間指定なし〕	さく井 プリント配線板製造 空気圧装置組立て カーテンウォール施工 バルコニー施工	ロータリー式さく井工事 プリント配線板製造 空気圧装置組立て 金属製カーテンウォール工事 金属製バルコニー工事	1・2級：判断等試験 1・2級：判断等試験 1・2級：判断等試験 1・2級：判断等試験 単一等級：判断等試験
1月23日(日) 〔8:30集合〕	電気製図	配電盤・制御盤製図	1・2級：製作等作業試験
1月23日(日) 〔13:00集合〕	鍛造 機械検査 電気機器組立て 配管 型枠施工 ガラス施工	プレス型鍛造 機械検査 シーケンス制御 建築配管 型枠工事 ガラス工事	1・2級：計画立案等作業試験 1・2級：計画立案等作業試験 1・2級：計画立案等作業試験 1・2級：計画立案等作業試験 1級：計画立案等作業試験 1級：計画立案等作業試験
1月23日(日) 〔8:30集合〕	半導体製品製造 半導体製品製造 機械・プラント製図	集積回路チップ製造 集積回路組立て 機械製図CAD	1・2級：判断等試験 1・2級：判断等試験 1・2・3級：製作等作業試験
1月30日(日) 〔13:00集合〕	油圧装置調整 農業機械整備 冷凍空気調和機器施工 厨房設備施工 特級全職種	油圧装置調整 農業機械整備 冷凍空気調和機器施工 厨房設備施工	1・2級：計画立案等作業試験 1・2級：計画立案等作業試験 1・2級：計画立案等作業試験 1級：計画立案等作業試験 特級：計画立案等作業試験
2月2日(水) 〔13:00集合〕	舞台機構調整	音響機構調整	1・2級：判断等試験

◆学科試験

- (1) 送付された『学科試験写真票』に顔写真を貼り、自筆のサインをして試験当日必ず持参して下さい。
- (2) 試験会場によっては、混雑が考えられますので、余裕を持って集合して下さい。
また、会場案内図等により指示された事項（駐車場の指定等）を必ず守って下さい。
- (3) 試験会場には、試験に必要なもの（筆記用具）以外は持ち込まないで下さい。
- (4) HBの鉛筆とプラスチック消しゴムを持参して下さい。ボールペン・サインペン等は採点の際、マークシートの誤読の原因になりますので、必ず鉛筆を使用して下さい。
- (5) 学科試験は、下記のとおり全国一斉に実施されます。

実施日	集合時間	職種および内容
1月23日(日)	9時30分	鍛造、機械検査（1・2級）、電気機器組立て、配管、型枠施工、ガラス施工 (6職種)
1月30日(日)	9時30分	油圧装置調整、農業機械整備、冷凍空気調和機器施工、和裁、水産練り製品製造、厨房設備施工、防水施工、カーテンウォール施工、機械・プラント製図、印章彫刻 ◎特級全職種 (32職種)
	12時45分	さく井、金型製作、工場板金、鉄道車両製造・整備、寝具製作、家具製作、バルコニー施工 (7職種)
2月2日(水)	9時30分	舞台機構調整（1・2級） (1職種)
2月6日(日)	9時30分	機械加工（3級）、半導体製品製造、プリント配線板製造、プリプレス、プラスチック成形（3級）、建築大工、かわらぶき、自動ドア施工、電気製図、塗装 (10職種)
	12時45分	機械検査（3級）、ロープ加工、電子機器組立て、空気圧装置組立て、菓子製造、鉄筋施工、コンクリート圧送施工、広告美術仕上げ (8職種)

※令和3年度（後期）技能検定学科試験における関係法令、JIS等の各種規格等の記載に基づく出題については、原則として、令和3年10月15日時点で施行されている内容に基づくものとします。ただし、職種（作業）ごとに、実作業の現場における普及状況等を勘案し、一般的に使用されている従前の施行内容に基づく場合もあります。

◆免除資格

① 技能検定関係（同一の検定職種に限る。）

対 象 者		技能検定試験の免除の範囲					備考
		特 級	1 級	2 級	3 級	単一等級	
特 級	実技試験のみ合格	実技の全部					※1
	学科試験のみ合格	学科の全部					※1
1 級	技能検定合格			学科の全部			
	実技試験のみ合格			実技の全部			※2
	学科試験のみ合格			学科の全部			※2
2 級	技能検定合格			学科の全部			
	実技試験のみ合格			実技の全部			※2
	学科試験のみ合格			学科の全部			※2
3 級	技能検定合格				学科の全部		
	実技試験のみ合格				実技の全部		※2
	学科試験のみ合格				学科の全部		※2
単 一 等 級	技能検定合格					学科の全部	
	実技試験のみ合格					実技の全部	※2
	学科試験のみ合格					学科の全部	※2

※1：実技試験又は学科試験に合格した日から5年間（当該合格した実技試験が行われた日の翌日から起算して5年を経過した日の属する年の翌年（その日が1月1日から3月31日までの間である場合は、その日の属する年）の3月31日まで）有効

※2：選択作業のある検定職種の場合には、同一の選択作業に限る。

注：免除資格の特殊な例を次頁に示します。

② 職業能力開発行政関係（検定職種に関する訓練科又は免許職種に限る。）

対 象 者			技能検定試験の免除の範囲					備考
			特 級	1 級	2 級	3 級	単一等級	
指導員試験合格又は指導員免許取得 ※（対応職種は次頁参照）					学科の全部		学科の全部	
応用課程の高度職業訓練における技能照査合格	技能照査合格後	5 年			学科の全部		学科の全部	
	実務経験年数	2 年			学科の全部		学科の全部	
専門課程の高度職業訓練における技能照査合格	技能照査合格後	4 年			学科の全部		学科の全部	
		実務経験年数	1 年			学科の全部		学科の全部
						学科の全部		
普通課程の普通職業訓練における技能照査合格	技能照査合格後2年（2,800時間以上なら1年）の実務経験				学科の全部		学科の全部	
					学科の全部			
短期課程の普通職業訓練について修了時試験合格かつ修了	1 級技能士コース				学科の全部			
	2 級技能士コース				学科の全部			
	単一等級技能士コース						学科の全部	
中央技能検定委員2年以上					実技の全部及び学科の全部		実技の全部 学科の全部	※1
都道府県技能検定委員2年以上					実技の全部		実技の全部	※1
技能五輪全国大会における技能証					実技の全部		実技の全部	
技能五輪地方大会における技能証					実技の全部			※2
全国障害者技能競技大会	実技部門の技能証				実技の全部			※2
	学科部門の技能証				学科の全部			※2

※1：選択作業のある検定職種の場合には、同一の選択作業に限る。

※2：平成16年10月21日が有効期限内である技能証は、その有効期限が過ぎたものであっても有効（H16厚労告376附則第2項及び第3項）

③ 他法令等関係

対 象 者		技能検定試験の免除の範囲					備考
		特 級	1 級	2 級	3 級	単一等級	
製菓衛生師法による製菓衛生師試験に合格した者			「菓子製造」職種に係る学科試験のうち食品一般及び菓子一般				
建築士法による1級建築士試験若しくは2級建築士試験に合格した者又は1級建築士若しくは2級建築士の免許を受けた者			「建築大工」職種及び「ブロック建築」職種に係る学科試験の全部			「枠組壁建築」職種に係る学科試験の全部	
建築士法による木造建築士試験に合格した者又は木造建築士の免許を受けた者			「建築大工」職種に係る学科試験の全部			「枠組壁建築」職種に係る学科試験の全部	
東京商工会議所が行う和裁に関する技能検定	1級の技能検定		「和裁」職種に係る実技試験の全部				
	2級の技能検定		「和裁」職種に係る実技試験の全部				

◆免許資格及び受検申請にあたっての特例

2つ以上の作業を有する検定職種にあっては、2つ以上の作業に共通する学科試験を実施しているものがあります。この場合、いずれか1つの作業の学科試験に合格すれば、他の共通試験問題の作業はすべて学科試験が免除になります。(免許資格の特例)

また、既に実技試験に合格している方が学科試験を受検しようとする場合、受検しようとする作業が当該期の実施作業に掲げられていないものであっても、共通の学科試験が行われている作業のうち、少なくとも1つ以上の作業が実施作業となっていれば、受検しようとする作業は受検できます。(受検申請の特例)

下表において、『学科試験共通作業』の同じ枠内にあるものは、学科試験問題が共通です。

検定職種	学科試験共通作業	備考
機 械 加 工	普通旋盤作業 数値制御旋盤作業 立旋盤作業	〔特記事項〕 平成19年度以前に、「数値制御旋盤」作業、「数値制御フライス盤」作業、「数値制御ボール盤」作業、「マシニングセンタ」作業のいずれかの学科試験に合格した場合は、平成20年度以降の受検申請において、当該4作業のすべての学科試験に限り免除となる。
	フライス盤作業 数値制御フライス盤作業	
	平面研削盤作業 数値制御平面研削盤作業 円筒研削盤作業 数値制御円筒研削盤作業 心無し研削盤作業	
ダ イ カ ス ト	ホットチャンバダイカスト作業 コールドチャンバダイカスト作業	
鉄 筋 施 工	鉄筋施工図作成作業 鉄筋組立て作業	
機械・プラント製図	機械製図手書き作業 機械製図CAD作業	

主な検定職種と職業訓練指導員免許職種の対応関係表

検定職種	指導員免許職種	検定職種	指導員免許職種	検定職種	指導員免許職種
さく井	さく井科	農業機械整備	農業機械科	型枠施工	建設科
鍛造	鍛造科	冷凍空調和機器施工	冷凍空調機器科	鉄筋施工	
金型製作	機械科	和裁	和裁科	コンクリート圧送施工	
工場板金	塑性加工科	家具製作	木工科	防水加工	防水科
機械検査	機械科	プラスチック成形	プラスチック製品科	カーテンウォール施工	サッシ・ガラス施工科
半導体製品製造	電子科	パン製造	パン・菓子科	バルコニー施工	建築科
電気機器組立て	電気科	菓子製造			枠組壁建築科
	メカトロニクス科	水産練り製品製造	水産物加工科	ガラス施工	サッシ・ガラス施工科
自動販売機調整	電子科	建築大工	建築科	機械・プラント製図	機械科
	電気科		枠組壁建築科	電気製図	電気科
鉄道車両製造・整備	鉄道車両科	かわらぶき	屋根科	塗装	塗装科
油圧装置調整	機械科	配管	配管科	プリプレス	製版・印刷科

(注) 改正前(平成5年4月1日)の免許職種も学科試験免除の対象になります。

◆技能検定の受検に必要な実務経験年数一覧

技能検定には、各級ごとにそれぞれ受検資格区分があり、職業訓練歴や学歴により定められていますが、いずれも原則として**検定職種に関する実務の経験が必要**です。必要な実務の経験年数は下表のとおりであり、令和3年10月15日現在で算定します。

なお、検定職種に関する実務の経験には、現場作業に限らず、管理監督、訓練、教育及び研究に関する業務や入職後に訓練または教育を受講した期間も含まれます。

表中にある◎印欄の受検資格で受検する場合は、検定職種に関する訓練科・学科を修了(卒業)していなければ、該当しません。(詳しくは、当協会までお問い合わせください。)

(単位：年)

受 検 対 象 者	特 級	1 級		2 級		3 級	単一等級	
	1 級合格後	2 級合格後	3 級合格後	2 級合格後	3 級合格後	* 5		
実務経験のみ		7			2		0 * 6	3
◎ 専門高校卒業 (*1) ◎ 専修学校卒業 (大学入学資格付与課程に限る)		6			0		0	1
◎ 短大・高専・高校専攻科卒業 (*1) ◎ 専修学校卒業 (大学編入資格付与課程に限る)		5			0		0	0
◎ 大学卒業 (*1) ◎ 専修学校卒業 (大学院入学資格付与課程に限る)		4			0		0	0
◎ 専修学校 (*2) 又は 各種学校卒業 (厚生労働大臣が指定したものに 限る。)	5	800h以上	2	4	0	0	0 * 7	1
		1,600h以上			0		0 * 7	1
		3,200h以上			0		0 * 7	0
◎ 短期課程の 普通職業訓練修了 (*3)		6			0		0 * 4	1
◎ 普通課程の 普通職業訓練修了 (*3)		5			0		0	1
	2,800h以上	4			0		0	0
◎ 専門課程又は特定専門課程の高度職業訓練修了 (*4)		3	1	2	0		0	0
◎ 応用課程又は特定応用課程の高度職業訓練修了			1		0		0	0
◎ 長期課程又は短期養成課程の指導員訓練修了			1	* 8	0	* 8	0	0
◎ 職業訓練指導員免許取得			1		—	—	—	0
◎ 長期養成課程の指導員訓練修了			0		—	—	—	0

* 1：学校教育法による大学、短期大学又は高等学校と同等以上と認められる外国の学校又は他法令学校を卒業した者は学校教育法に基づくそれぞれのものに準ずる。

* 2：大学入学資格付与課程、大学編入資格付与課程及び大学院入学資格付与課程の専修学校を除く。

* 3：職業訓練法の一部を改正する法律（昭和53年法律第40号）の施行前に、改正前の職業訓練法に基づく高等訓練課程又は特別高等訓練課程の養成訓練を修了した者は、それぞれ改正後の職業能力開発促進法に基づく普通課程の普通職業訓練又は専門課程の高度職業訓練を修了したものとみなす。また、職業能力開発促進法の一部を改正する法律（平成4年法律第67号）の施行前に、改正前の職業能力開発促進法に基づく専門課程の養成訓練を修了した者は、専門課程の高度職業訓練を修了したものとみなし、改正前の職業能力開発促進法に基づく普通課程の養成訓練又は職業転換課程の能力再開発訓練（いずれも800時間以上のものに限り。）を修了した者はそれぞれ改正後の職業能力開発促進法に基づく普通課程又は短期課程の普通職業訓練を修了したものとみなす。

* 4：総訓練時間が700時間未満のものを含む。

* 5：3級の技能検定については、上記のほか、検定職種に関する学科に在学する者及び検定職種に関する訓練科において職業訓練を受けている者等も受検できる。また、3級合格後は、在学及び訓練中に2級を受検できる。

* 6：検定職種に関し実務の経験を有する者について、受検資格を認めることとする。

* 7：当該学校が厚生労働大臣の指定を受けたものであるか否かに関わらず、受検資格を付与する。

* 8：短期養成課程の指導員訓練の修了者については、訓練終了後に行われる能力審査（職業訓練指導員試験に合格した者と同等以上の能力を有すると職業能力開発総合大学の長が認める審査）に合格しているものに限り。

～技能検定Q & A～

◎希望する職種（作業）の試験問題について、詳しく知りたいのですが。

⇒前回の試験問題が実技試験・学科試験ともに公開されていますので、ご希望の方は当協会技能振興課までお問い合わせください。

◎同時に複数の作業を受検することは可能ですか。

⇒試験日が重複しない等、可能な場合もありますので、事前に当協会にお問い合わせください。

◎検定職種と選択作業の違いは何ですか。

⇒技能検定は検定職種で分類され、さらに検定職種は選択作業に分かれております。試験はこの選択作業毎に実施されます。

選択作業は1つの場合と複数の場合があり、それぞれ異なります。（1～2ページを参照）

ただし、特級については職種のみ分類となります。

◎実技試験には製作等作業試験、判断等試験及び計画立案等作業試験の3種類があるようですが、全部受けなくてはならないのですか。

⇒実技試験の種類は、選択作業によって異なります。

◎実務経験年数が7年以上あるので1級を受検したいのですが、同じ職種の下位等級（2級）に合格しています。この場合、その合格証書の写しを添付する必要がありますか。

⇒この場合については、直接1級を受検する実務経験年数がありますので、写しを添付する必要はありません。ただし、申請書の合格状況の欄には、同じ職種の下位等級の合格状況を記入してください。なお、下位等級合格後の短縮された実務経験年数を満たしての受検をする方は、写しの添付が必要となります。

◎1級普通旋盤作業（機械加工職種）の学科試験にのみ合格している場合、同級・職種のフライス盤作業等を受検する際、学科試験は免除になりますか。

⇒免除になりません。免除は、技能検定の学科・実技試験の両方に合格し、合格証書が交付されていることが条件となります。（8ページを参照）

◎実技試験（又は学科試験）のいずれか一方に合格した場合の有効期限はいつまでですか。

⇒現行の技能検定制度においては、1級・2級・3級・単一等級の有効期限はありませんが、特級の有効期限は、合格発表日から5年間です。

合格通知書は、免除資格の証明書となりますので大切に保管してください。

◎過去に実技試験又は学科試験に合格したが、一部合格通知を紛失してしまった場合は試験免除になりますか。

⇒合格通知書を紛失してしまった場合でも免除資格は有効です。当協会では合格内容（合格番号、合格年月日等）を確認いたしますので、お問い合わせください。

◎実技試験を過去に合格し、学科試験も免除資格があるのですが、技能検定合格となるにはどのような手続きが必要ですか。

⇒実技試験・学科試験とも免除を受けることができる方(両方免除)は、技能検定合格の対象となりますが、改めて技能検定の受検申請が必要です。申請方法は他の受検申請(3ページ)と同様ですが受検手数料はかかりません。全職種(作業)について、実施期間(前期・後期)にかかわらず受検申請をすることができます。

◎試験日、試験会場は決まっていますか。

⇒学科試験日は、6ページ「◆学科試験」に予定表を掲載しています。試験会場は、申請受付後に決定し、受検票に記載して通知いたします。

実技試験については日程、会場とも、一部の試験を除き、申請受付後に決定し、受検票に記載して通知いたします。(日程が決まっている職種は、5ページ「◆実技試験」の表に予定日を掲載しています。)

◎実技試験問題の公表日になっても、試験問題が届かないのですが。

⇒実技試験問題は、実技試験問題公表日[令和3年11月26日(金)]以降、12月に実施する職種を除き、遅くとも実技試験実施日の約1ヶ月前までに、受検票と同時に送付する予定です。

◎受検票が届き試験日程を確認したが、都合が悪くて出席できない。試験日程の変更は可能ですか。

⇒試験日程の変更はできません。試験当日に来られない場合は欠席となります。なお、受検手数料は、申請受理後は実技試験実施の中止の場合を除き、理由を問わずお返しできません。また、受検の権利を翌年へ繰り越すことはできませんので、再度受検の申請をしてください。

◎受検のための事前講習会は開催されますか。

⇒当協会主催の講習会は行っておりません。一部の職種について、各関係業界団体等の主催で開催されている場合があります。各団体等から案内の依頼があったものについて、該当する受検者あてにお知らせいたします。

◎受検勉強のために何か良い参考書や問題集はありますか。

⇒一部の職種では、問題集や参考図書があります。また、過去の既出問題等のお問い合わせは、**宮城県技能士会連合会**(TEL 022-271-9260宮城県職業能力開発協会内)にお願いいたします。

◎実技試験(又は学科試験)受検の際に持参する受検票に貼る写真は、デジタルカメラで撮影したものでもよいでしょうか。

⇒デジタルカメラで撮影した写真でも構いませんが、時々不鮮明な写真が見受けられます。顔が鮮明に写った写真を貼るようにお願いいたします。

なお、写真の裏面に等級、作業名、氏名を書いてから貼ってください。

[不適当な写真] 帽子、サングラス等を着用している。背景が無地でない。写真が縦又は横に引き伸ばされている。顔部分が小さい(概ね1cmに満たない。)

◎合格証書を紛失してしまいました。再発行はできますか。

⇒合格証書の再発行は、宮城県経済商工観光部産業人材対策課人材育成第二班(TEL 022-211-2763)で行います。

ホームページアドレス <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sanzin/minkan7.html>

技能五輪宮城県大会

(令和3年度後期実施分)

1. 受付期間 令和3年10月4日(月)から10月15日(金)まで

受付時間…………… 9時～16時 休日……………土日祝日

2. 参加資格 次のすべての条件を具備した者とする。

(1) 平成11年(1999年)1月1日以降に生まれた者

(2) 日本国籍を有し宮城県内に在住、又は、宮城県内所在の事業所に勤務している者。

(3) 過去の国際大会で、同一職種の競技に参加したことのない者。

3. 実施作業 下記 7競技職種

全国大会競技職種	宮城県大会競技職種	参加手数料	
		一般の参加者	※在校生
冷凍空調技術	冷凍空調和機器施工(冷凍空調和機器施工作業)	9,200円	3,100円
建築大工	建築大工(大工工事作業)	〃	〃
配管	配管(建築配管作業)	〃	〃
西洋料理	西洋料理	18,200円	18,200円
機械製図	機械・プラント製図(機械製図CAD作業)	4,300円	2,900円
電気溶接	電気溶接	無料	無料
電工	電工		

※高等学校、専門学校等に在学中の方の手数料

4. 手続き 技能五輪参加申込書(技能検定受検申請書と併用)に所定の事項を記入のうえ、**参加手数料振込明細書等のコピー**を添えて受付期間内に当協会へお申込み下さい。

2級技能検定試験と兼ねて申し込まれる場合は、上部余白に**五輪**と朱記して下さい。

5. 競技 令和3年12月3日から令和4年2月13日までの指定した日に行われます。

「西洋料理」、「電気溶接」、「電工」職種以外は、技能検定2級の実技試験問題が課題となります。

6. 特典 「西洋料理」、「電気溶接」、「電工」職種以外は、一定の水準以上の成績を収めると**技能証**が交付され、2・3級技能検定受検の際、実技試験が免除されます。

7. 全国大会 当大会で特に優秀な成績を収めた者は、県知事及び当協会長が協議のうえ、宮城県代表選手として、**第60回技能五輪全国大会**へ推薦されます。

※第60回技能五輪全国大会 千葉県にて開催予定

8. 表彰 当大会で優秀な成績を収めた者は、当協会規程により表彰されます。

9. 問合せ先 宮城県職業能力開発協会 仙台市青葉区青葉町16-1 ☎ 022-271-9917

◆受検申請書記入例

※ ① 1 級 技能検定受検申請書
技能五輪

※受検手数料(円)				学科試験
実技試験				□ 3,100
□ 18,200	□ 9,200	□ 12,100	□ 3,100	
□ 15,100	□ 6,100	□ 10,100	□ 2,900	
□ 13,300	□ 4,300	□ 8,900	※	合計

技能検定試験を受けたいので申請します。

② 宮城県知事殿
令和3年10月7日 氏名 宮城 太郎 (自署)

③	検定職種	造園		職種番号	062	フラワー装飾作業	※受検番号		
	選択作業	造園工事		作業番号	010	(A) (B)			
④	(ふりがな)	(姓) みやま	(名) たろう	受検区分	<input type="radio"/> A甲:実技・学科両方受検 <input type="radio"/> B:実技免除(学科受検) <input type="radio"/> A乙:学科のみ受検(免除なし) <input type="radio"/> C:学科免除(実技受検) <input type="radio"/> A丙:実技のみ受検(免除なし) <input type="radio"/> D:実技・学科両方免除				
	氏名	宮城 太郎		(○で囲む)					
⑤	生年月日	昭和・平成 57年 5月 2日		年齢	44歳		性別	<input checked="" type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女	
	受検先・結果通知等送付先	<input type="checkbox"/> 現住所	〒987-0978 仙台市青葉区青葉町0-0		電話	022(000)0000		携帯電話	090-0000-0000
		<input checked="" type="checkbox"/> 学校・勤務	〒980-0074 仙台市青葉区本町0-0-0 (株)〇〇開発		【担当者:総務(部)課・()青葉 あて】	電話 022(0000)0000			
<input type="checkbox"/> その他	〒000-0000		【担当者: 部・課・() あて】	電話 ()					
⑥	学歴	学校名	学科名	所在地	在学期間	卒業・中退の別			
	受検	宮城県〇〇高等学校	普通科	仙台市青葉区米袋0-0	自H4年4月 至H7年3月	<input checked="" type="radio"/> 卒業・中退 <input type="radio"/> 在学中			
⑦	職業訓練歴	訓練施設名	訓練科名	所在地	訓練期間	修了・中退の別			
	資格	宮城県立〇〇高等技術専門学校	造園科	仙台市宮城野区田子0-0	自H7年4月 至H7年10月	<input checked="" type="radio"/> 修了・中退 <input type="radio"/> 在学中			
⑧	資格	事業所名	地位職名	所在地	在職期間	職務内容			
	歴	(株)〇〇開発	職長	〒000-0000 同上 電話 ()	自H12年4月 ~現在	造園工事			
⑨	技能士資格状況	等級区分	2級	合格年月日	H17年10月4日		受検資格判定		
	[実技・学科とも合格 している方のみ記入]	職種名	造園	取得地	宮城 都・道・府・県		※		
⑩	実技試験	試験、検定、免許等の種類	資格の名称や職種名	証明書記載年月日	年 月 日	実技免除資格判定			
	の免除	1. 実技試験合格	8. 商工会和裁	取得地	都・道・府・県		※		
		6. 技能証	9. その他	合格通知等の番号	第 号				
学科免除	試験、検定、免許等の種類	資格の名称や職種名	証明書記載年月日	H18年10月3日		学科免除資格判定			
の免除	① 学科試験合格	5. 向上訓練	取得地	宮城 都・道・府・県		※			
	2. 技能検定合格	6. 技能証(学科部門)	合格通知等の番号	第 0001 号					
	3. 技能照査	7. 検定委員歴	(技能士番号等)						
4. 指導員免許	9. その他								

※印には記入しないで下さい。

◆受検申請書記入の仕方

- ・合格証書は申請書をもとに作りますので、氏名・生年月日（住民票に記載のとおり）を正確（略字、俗字を使わず）に記入してください。
- ・ボールペン等を用い、文字は楷書、数字は算用数字で正確に記入してください。
- ・一旦記載した内容を訂正する場合は、二重線で取り消した後に訂正印を押印してください。
- ・※の欄は記入しないでください。
- ・申請後に記載事項に変更があったときは、すみやかに当協会までお知らせください。

①受検級

受検しようとする級を記入してください。技能五輪への参加希望者は技能五輪の欄に○をしてください。

②申請署名欄

協会に提出する日付（受付期間内）を記入してください。

③受検職種・氏名・受検区分・生年月日・年齢

1～2ページの表に記載のとおり正確に記入してください。受検区分の欄には試験免除の有無等により、受検しようとする区分を○で囲んでください。年齢は申請時点での年齢を記入してください。

④受検票・結果通知等送付希望先

受検票・結果通知等送付先に☑を入れ、現住所、勤務先・在学校の住所を記載してください。

⑤学歴

中学校・高等学校・大学・大学院のいずれかを記入してください。

⑥職業訓練歴

専門学校・訓練校のいずれかを記入してください。

⑦職歴

受検に関連するものを対象とし、最近のものから順に記入してください。書ききれない場合は適当な補助紙をつけ記入してください。

⑧技能士合格状況

下位等級に合格している場合は、必ず記入してください。

⑨⑩試験の免除

該当する欄の数字を○で囲み、資格の名前、職種名、年月日等を必ず記入し、証拠となる書類のコピーを添付してください。

◆卒業年早見表

生年	昭和30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54
年齢	65	64	63	62	61	60	59	58	57	56	55	54	53	52	51	50	49	48	47	46	45	44	43	42	41
中学卒	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	平成	2	3	4	5	6	7
高校卒	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	平成	2	3	4	5	6	7	8	9	10

生年	55	56	57	58	59	60	61	62	63	平成	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
年齢	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16
中学卒	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	令和2
高校卒	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	令和2	3	4	5

※早生まれの方は前年を参照。

◆受検上の諸注意（必ずお読みください）

- 受検手数料は、申請受理後は特別な場合を除き、理由を問わずお返しできませんのでご了承ください。
- 実技試験又は学科試験が免除になる場合、免除となる試験の手数料はかかりません。
- 実技試験及び学科試験の両方の免除を受ける方は、今回宮城県で実施する職種（作業）以外でも受付期間内に、「受検申請書」により免除の申請を行うことができます。その場合、合格証書の交付は合格発表の日以降で今回受検される方と同じ日となりますのでご了承ください。
- 「鍛造」、「工場板金」「プラスチック成形」については、受検者の所属する事業所の設備を使用して実技試験を実施しますので、受検希望者は、当協会にご相談ください。
- 受検資格判定等で困難が生じる場合、職歴証明書や卒業証明書等を提出いただく場合があります。
- 受検申請書に学歴、職業訓練歴、職歴その他受検資格又は免除資格に関係ある経歴について虚偽の事実を記載するなど真実と異なることが判明した場合は、その試験結果は無効となり、合格した場合でも取消しとなります。
- 受検申請者が著しく少ない場合は、実技試験の実施を中止することがあります。その場合は、申請受理した受検料はお返しします。
- 職種によっては設備等の関係で、受付期間内でも受検申請を締め切ることがあります。
- 身体に障害を持つ方が受検を希望される場合、その障害の状況に応じて必要とされる範囲内で配慮しますので、受検申請の際にご相談ください。

◆実技試験において免許・特別教育を要する作業一覧

- 下記の実技試験については、労働安全衛生法第61条第1項・労働安全衛生法第59条第3項に基づく資格証等の携帯、写しの提示等が必要です。または、特別の教育と同等の知識及び技能を有していることを別途指定する様式により申告していただきます。

検定職種	作業名	持参するもの
工場板金	機械板金	動力プレス機械の金型の取付け等の作業に関し労働安全衛生法に基づく安全又は衛生のための特別の教育を修了した証明書等
	数値制御メットパンチプレス板金	
冷凍空気調和機器施工	冷凍空気調和機器施工	労働安全衛生法に基づくガス溶接作業主任者免許証又はガス溶接技能講習修了証その他資格を証する書面

技能検定申請提出物貼付用紙

受検者氏名		級	<input type="checkbox"/> 技能五輪
職 種		作 業	

1 本人確認書類

○下記のいずれか1枚のコピーを添付してください。

- ①運転免許証（住所変更した場合等、裏面のコピーも添付して下さい）
- ②健康保険被保険者証
- ③生徒手帳・学生証・在学証明書（氏名・生年月日が確認できるもの）
- ④その他日本の官公庁が発行した身分証明書（氏名・生年月日が確認できるもの）

本人確認書類貼付欄

※ はがれないようにしっかりと貼り付けてください ※

2 受検手数料収納振込明細

○受検手数料振込明細の原本又はコピーを貼付してください。

○インターネットバンキングでお振込みの場合は表示された画面をプリントアウトして貼付してください。

○学校や事業所等で、複数人分一括でお振込みの場合は、裏面の一括納入内訳一覧表に記入してください。

振込明細書貼付欄

個人 一括

振込名義_____

※ はがれないようにしっかりと貼り付けてください ※

技能検定受検手数料一括納入内訳 一覧

- 一括して振込の場合は、下記の納入内訳に必ず記入し提出して下さい。
- 紙面が不足する場合は、コピーして追加して下さい。
- 必要事項が明記してあれば別様式でも構いません。（但しサイズはA4とする）

1	事業所・団体名	
	担当者所属	
	担当者氏名	
	振込名義 (事業所・団体名等)	
	納 入 日	年 月 日

2	番号	受検者氏名	職 種	作 業	級別	実技試験 手数料	学科試験 手数料	受検手数料 合 計
	1							
	2							
	3							
	4							
	5							
	6							
	7							
	8							
	9							
	10							
	11							
	12							
	13							
	14							
	15							
	合計納入額							円

技能検定学科試験 宮城県外受検申請書

令和 年 月 日

宮城県職業能力開発協会 会長 殿

下記理由により、技能検定学科試験を宮城県外で受検したく申請します。

記

1. 申請理由 (1) 転勤により、試験日には宮城県内に在住していないため。
(2) 在住都道府県では希望する職種を実施していないので、宮城県に受検申請したため。
(3) その他 (_____)

2. 申請者

氏 名： _____ 印

連絡先：自宅・勤務先・その他 (_____)

住 所：〒 _____

T E L： _____

検定職種名： _____

作 業 名： _____

等 級： _____ 特級・1級・単一等級・2級・3級

受検希望地： _____ 都道府県 _____ 市区町村

3. 注意事項 (1) 希望する都道府県の都合により、申請にお応え出来ない場合があります。
(2) 技能検定受検申請書と一緒に申請して下さい。
(それ以後では、申請にお応え出来ない場合があります。)
(3) 転居する方は、新しい連絡先をご記入下さい。

令和3年度後期技能検定受検上の諸注意

新型コロナウイルス感染症は、風邪や季節性インフルエンザ対策と同様に一人一人の咳エチケットや手洗いなどの実施がとても重要です。感染症対策に努めていただくようお願いいたします。

1 試験前の注意 (試験前2週間程度～試験日当日)

・下記のいずれかに該当する方は受検をご遠慮くださいますようお願いいたします。

- ① 37.5℃以上または平熱を1℃以上超える発熱がある。
- ② 咳、のどの痛みなどの風邪の症状がある。
- ③ だるさ（倦怠感）、息苦しさがある。
- ④ 嗅覚や味覚に異常がある。
- ⑤ 新型コロナウイルス感染症陽性と診断された者との濃厚接触がある。
- ⑥ 同居家族や身近な知人等に感染が疑われる者がいる。
- ⑦ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とする国、地域等への渡航又は当該国等の在住者との濃厚接触がある。

・基本的に上記の理由での受検キャンセルの場合、手数料の返金はありませんのでご注意ください。

2 試験中の注意

- ・試験開始前に受検者の皆様には、当日の体調を申告していただきます。（受検票とともに送付いたします申告用紙に記入をしていただきます。）
申告内容及び当日の様子を総合的に判断し、受検に適さないと判断された場合は、会場にお越しいただいても試験を実施することなくお帰りいただくことがありますのでご注意ください。
- ・試験中は当日の気温天候に関わらず定期的に換気をさせていただきますので、各自で防寒対策をお願いいたします。
- ・各自でマスクの着用と、手指の消毒にご協力ください。（各会場に消毒液を設置いたします。）

3 試験後の注意

・試験終了後2週間以内に、新型コロナウイルス感染症の陽性反応が出た場合は速やかに当協会までご連絡ください。

なお、試験中における感染については、当協会では一切責任は持てませんのでご了承ください。